

第5回名立区地域協議会 次第

日時：令和元年8月27日（火）午後6時30分から
場所：名立区総合事務所 2階第2会議室

1 開 会

2 報告事項

地域活動支援事業追加募集分採択結果について

3 協議事項

令和元年度視察研修について

4 その他事項

令和元年度第6回地域協議会の開催予定

・令和元年 月 日（ ）午後 時 分から

5 閉 会

地域活動支援事業追加募集分採択結果について

1 追加募集分採択結果

事業名	団体名	事業概要	希望補助額 (千円)	決定補助額 (千円)
猟友会会員の身の安全確保のための無線機購入事業	一般社団法人新潟県猟友会西頸城支部名立支会	捕獲作業時に使用する無線機等を購入する。	654	196
名立区老人クラブ連合会 教養講座「名立を学び、伝える講座」実施事業	名立区老人クラブ連合会	名立の歴史等について教養講座や伝承事業の実施及び冊子の作成、配布を行う。	100	100
名五美ちゃん为名立区を元気に！事業～駅から元気を発信しよう～	宝田小学校PTA	駅ホームや連絡通路にパネルや案内看板等を設置する。	286	286
市指定無形民俗文化財保存事業	折平郷土芸能保存会	不具合が生じている獅子頭や和楽器の修繕を行う。	370	370
計			1,410	952

2 予算

単位：千円

名立区配分額 (A)	一次決定額 (B)	追加募集額 (A)-(B)=(C)	追加募集分補助決定額(D)	補助額合計 (B)+(D)=(E)	残額 (A)-(E)
5,200	4,170	1,030	952	5,122	78

※今年度の募集については、4件の追加をもって終了とする。

3 採択の経過

(1) 猟友会西頸城支部名立支会の提案への対応

- ①全体協議で意見が出された無線機本体の取り扱いについて、地域協議会終了後、提案者と協議した。提案者からは「上越市鳥獣被害防止対策協議会（農政課事務局）からの無線機本体の貸与、もしくは貸与されなかった場合はリースで無線機本体を自分たちで手配する。貸与されないスピーカーマイク、イヤホン、キャリングケースについて、支援をお願いしたい。」との要望を受けた。

②①を受けて、会長・副会長と協議し、「本体は提案団体が、付属品を支援事業で支援することで本提案を採択とする。」という結論に至った。
これにより、補助額を該当機器に係る額とし、196千円を補助額と決定した。

(2) その他提案の対応

(1)を受け、提案のあった4件の希望額が募集額内に収まることから、採択となったその他3件について、提案額のとおり決定することとした。
なお、宝田小学校 PTA の借上料についても、学期終了後の学校閉鎖日や急ぎの作業に櫻海寮の使用が必要であるとのことで、提案のとおりとした。

平成29・30年度 各地域協議会視察研修実績

地域協議会名	H29						
	実施日	研修先 (例:NPO法人〇〇(〇〇市))	研修内容	参加 委員 人数	事務局 参加 人数	視察の成果(委員の感想等)	その他特記事項
高田区地域協議会	10/2(月)	水戸の川排水機場～水戸の川～高田公園北堀・西堀・南堀	高田区地域協議会が自主的審議に係る提案「高田公園周辺の雨水排水対策」について審議するため、現地を視察し現状を把握するもの。	11	2	排水機場の設備は素晴らしいものだった。その操作を請け負っている町内会の皆さんは非常に苦労されていると思った。水戸の川は図面のとおりに住宅地を大回りしていた。広い所と狭い所があることを現地で確認できた。その解消が必要なことが確認できた。	
新道区地域協議会	11/17(金)	新道区管内	・これまでの地域活動支援事業(H26～H28)の実施し、施工箇所を巡回 ・H29年度提案分において、不採択となった事業の現場検証	12	2	(委員の感想) ・過去の備品等の要否についても協議会が判断し、提案者に助言できたらいい。 ・提案された事業は事前の調査と内容確認が大切だと感じた。 ・ヒアリング時には、提案者に否定的な考えを言うのではなく、必要性や将来性を質問し、もっと創造力のある地域にしていくべきだ。	
金谷区地域協議会	-						
春日区地域協議会	-						
諏訪区地域協議会	-						
津有区地域協議会	-						
三郷区地域協議会	4/25(火)	すこやかサロン三郷 (会場:三郷地区公民館)	自主的審議事項「三郷区における高齢者支援の取組について」の参考とするため、「すこやかサロン三郷」の実際の様子を視察するほか、サロンの参加者やJAえちご上越の担当者や意見交換を行う。	10	2	(委員の感想) ・健康体操を体験し、非常によいことだと思った。 ・周知不足が課題である。 ・会場である三郷地区公民館には、老朽化などの問題がある。 ・会場から遠い方の移動手段が課題である。	共生まちづくり課職員2名同行
和田区地域協議会	8/3(木)	ゆきだるま財団 (安塚区)	和田区地域協議会が「雪を生かした地域づくりの推進」について自主的審議するにあたり、雪利用の先進的な取組を視察研修し、今後の審議に生かすために、伊藤親臣チーフスノーマンの講話、雪室貯蔵庫見学、雪冷房体験を行った。	9	2	雪利用先進地における取組を視察し、和田地区において取り組む際の参考になった。	
	3/1(木)	高士雪まつり実行委員会 (高士区)	和田区地域協議会が「雪を生かした地域づくりの推進」について自主的審議するにあたり、雪を利用した先進的なイベントの取組状況を視察研修し、今後の審議に生かすもの。なお、正副会長が代表して視察した。	2	2	実行委員会が若い世代(子育て世代)により構成されていることなどから、和田区において拙速にイベント開催を急ぐより、もう一つの自主的審議事項である組織や人材育成と合わせて検討を進める必要がある。	
高士区地域協議会	-						
直江津区地域協議会	7/7(金)	富岡市観光おもてなし課 富岡商工会議所 富岡商店街連合会 スマイル富岡 (群馬県富岡市)	世界遺産富岡製糸場を活かした観光客受入の取組について内容説明を受けたほか、駅周辺から商店街にかけて観光客を迎え入れるための施設整備や街中の回遊性、まちづくりのための施設等を視察した。	13	1	・まずは住んでいる人の生活が充実することが大切であり、それが観光客誘致にも繋がるかと改めてまちづくり構想の目的と通じるものがあった。 ・やはり新水族博物館を核として、周辺のまちの人が一丸になって盛り上げていく必要があると改めて感じた。	
有田区地域協議会	2/22(木)、 23(金)	有田小学校	平成30年4月開校予定の「有田小学校」の校舎が完成したことから、教育委員会実施の校舎内覧会に合わせて、見学を行い、地元の小学校の認識を深めた。	14	4	校舎を見学し、現在の小学校に必要な整備を学ぶことができ、委員の地元小学校に対する認識を深められた。	
八千浦区地域協議会	-						
保倉区地域協議会	8/3(木)	保倉区内	過去に保倉区で地域活動支援事業費補助金を活用して実施した事業について、現地に赴き確認した。	10	2	今後、委員が協議会審議や地域活動支援事業の審査をするにあたっての知識・理解を深められた。	
	11/27(月)	上越市クリーンセンター	これまで工事の進捗状況等報告を受けてきた上越市クリーンセンター(新クリーンセンター)が完成したことから、施設見学を行い、地元の施設としての認識を深めた。	9	2	施設を見学し、施設担当者から説明を受けた。施設の概要やごみ処理の流れ、設備等を確認したことで委員の施設に対する認識が深められた。	
北諏訪区地域協議会	11/15(水)	上越市クリーンセンター	これまで工事の進捗状況等報告を受けてきた上越市クリーンセンター(新クリーンセンター)が完成したことから、施設見学を行い、地元の施設としての認識を深めた。	7	2	施設を見学し、施設担当者から説明を受けた。施設の概要やごみ処理の流れ、設備等を確認したことで委員の施設に対する認識が深められた。	
谷浜・桑取区地域協議会	-						
安塚区地域協議会	11/6(月)	・NPO雪のふるさと安塚 ・安塚観光協会 ・行野自治会 ・朴の木自治会 ・安塚町内会	地域活動支援事業(安塚区)採択事業の現状を確認し、審査する上での課題等を整理する。	11	3	備品等の購入を伴う事業については、審査時にその備品等が本当に必要か疑問に思ったことがあったが、今回視察した団体については、有効活用されていた。実際に地域に赴き、現場を確認することで、各団体が当制度を活用して地域を盛り立てようとしている姿を見ることができた。	
浦川原区地域協議会	11/13(月)	・新クリーンセンター ・オーレンプラザ ・陸上競技場	市内において、新規に整備・改修した施設を視察し、情報収集を行うとともに、委員としての見識をさらに深めることを目的として実施する。(浦川原区町内会長連絡協議会との合同研修)	4	2	施設を見学し担当者から説明を受けた。各種施設の概要を知ることにより、委員の見識をさらに深める機会となった。	
大島区地域協議会	9/1(金)	・榊A・ファーム雪の十日町 ・特定非営利活動法人ECOPLUS	・榊Aファーム雪の十日町 6次産業に向けた取組や農家レストランの経営手法や地域の協力体制について学ぶ ・特定非営利活動法人ECOPLUS 自然、異文化、地域社会をテーマとした体験や学びを重視し、「本当の豊かさを求めて」活動する法人の取組を学ぶ	9	6	・榊A・ファーム雪の十日町 十日町市初の6次産業化認定企業である榊A・ファーム 雪の十日町の社長と専務から会社設立に至る経緯、設立後の取り組み、農家レストランの運営状況等を説明を受けた。その熱い思いに感銘を受けた。 若い人が働ける職場を作ること、若い人の発想を活かすことが大切だと感じた。 ・特定非営利活動法人ECOPLUS 特定非営利活動法人ECOPLUSは南魚沼市全体の農山村を活動範囲とし、いくつかの集落と共に様々な取り組みを行っている。その取り組みの一つである清水地区での取り組みを視察した。 地区の委員長から活動や交流を通して集落が一つにまとまるようになったと聞き、自然を維持する活動、自然を活かした生活・文化の大切さを改めて実感した。 活動は無理をせず、できることを行い、外部の力は歓迎するが頼らないことが大切だと感じた。	所長、次長、市・福G長、事務局2名、集落づくり推進員1名
牧区地域協議会	7/27(木)	・地元の危険箇所(午前) ・池谷集落(午後)	・危険箇所の把握 ・少子高齢化が進んだ地域が集落を維持していくためにどのような方策をとったのか。また、今後の課題について研修する。	9	3	・危険箇所 避難場所、特に集落の避難場所の安全性の問題や交通路の確保の点検が必要と思う。 地域住民への危険箇所の周知徹底が必要と思う。 近年の災害はいつ、どこでおきてみおかしくない、危険箇所を知る事で少しでも減ればと思う。 ・池谷集落 若い人を意識づけるために、集まり話し合せ、興味を持つことを引き出すことが必要。 Uターン、よそから来た人、一度外を見てきた人が価値に気付きリーダーとなる。 年配者は若者の支援者となるべき。若者が手助けを求めたら受ける。若者中心にしていく。 世代交代の時期、タイミングの重要性。若者がいるうちに。	事務局2名、集落づくり推進員1名

平成29・30年度 各地域協議会視察研修実績

地域協議会名	H29						
	実施日	研修先 (例:NPO法人〇〇(〇〇市))	研修内容	参加 委員 人数	事務局 参加 人数	視察の成果(委員の感想等)	その他特記事項
柿崎区地域協議会	11/22(水)	・(株)地域交流センター企画 富山事務所(富山県射水市)	空き家の活用や移住定住の取組について、(株)地域交流センター企画 代表 明石博之さんからお話を伺い、施設を案内していただいた。	10	3	・空き家の活用や人口減少、若者がいない等の課題について、先進的な取組事例を見て、課題解決のスキルアップを図ることができた。 ・講師は、空き家は資産だと思い、地方でまちの主体者になりたいという気持ちで移住した。そして、1人から輪が広がり、周りに伝わって、まちづくりのソーシャルデザイナーになった。とても理想的な形だと思った。 ・まちを元気にする秘訣は「ワクワクする気持ち」という講師の言葉が印象的で、まさに楽しんで取り組んでいると感じた。	事務局2名、地域おこし協力隊1名
大潟区地域協議会	3/8(木)	・オーレンプラザ ・新クリーンセンター ・有田小学校	地域協議会内で協議するための基礎的な事柄等について理解を深めるとともに、地域の課題解決に向けた取り組みの一助とするために実施する。	11	3	・施設を見学し担当者から説明を受けた。各種施設の概要を知ることにより、委員の見識をさらに深める機会となった。 ・3施設とも新しい施設であるが、特に有田小学校は春日新田小の一部と小猿屋小の統合による児童数の増加を踏まえ、木材も多用し、子供たちが伸び伸びと学習できる素晴らしい環境が整えられていると感じた。	次長、事務局2名
頸城区地域協議会	-						
吉川区地域協議会	11/14(火)	・新潟県立吉川高等特別支援学校(吉川区原之町) ・十日町市(地域おこし協力隊等)	・吉川区「出張」地域協議会で市民から出された課題である、「新潟県立吉川高等特別支援学校の支援と協力体制の整備」について検討するため、情報収集を行うもの。 ・地域おこし協力隊の活動において、県内でも先進的な取り組みを行い、トップレベルの動員、定住実績を持つ十日町市の施策を視察し、さらに実際に施策を導入した集落に伺い、キーマンや関係者と懇談することで、今後の吉川区での施策検討の材料とする。	10	2	・高等特別支援学校で、井部校長先生と話をした。学校なので、休日はイベントなどは開けない。買い物難民の関係でアクセスが良くなったら、こちらにお立ち寄りをお願いするのも方法ではないかと提案した。校長先生は、この施設はエレベーターが付けられない。付けると5千万円かかる、とのことだった。地域の中での交流施設というか、これから子どもさんたちが社会に旅立とうとするときに、いろいろな人達の意見や立ち居振る舞いに触れることは、すごく大事なことだと思う。地域のお年寄りにとっては、若い子供たちが頑張っている姿を見る事で、元気を頂けると思う。ネックはエレベーターが付けられない、という話だったので、機会があったら、将来的な交流を含め、エレベーターを付けていただく方策があれば、考えていただきたいと思った。 ・今日、(高等特別支援学校の)カフェで、最後会計が終わった後に、割りばしやポチ袋など販売していた。元協力隊の石川さんと話をしたが、こういうものがあるのなら、あそこも募金を募っており、運営は厳しいというのは、学校の運営委員会に参加しているので理解している。そういうものをもっと販売したらどうかと、原之町のYショップでコーナーを設けて、という話をしたが、校長先生、教頭先生に話すと、数がそんなに作れないそうです。なので、協力いただいた方へのお礼や、カフェの販売でいっぱいいっぱいだ、という話だった。トイレもウォシュレットは付いていないそうだ。洋式にはなっているが、県立なので予算もないので、いろんな要望はいっぱいあると思う。機会があればカフェに行き、募金も受け付けている。そこで支援をしていただきたい。 ・地元にある学校を見せていただき、名前は知っているが、実状はなかなか理解できない。視察で理解させてもらったのは成果があった。地域おこし協力隊も、地域地域でいろいろな事情があることも共有できた。今日の経験を活かし、地域協議会に反映させていただきたい。	この他、集落づくり推進員、元地域おこし協力隊員、現地域おこし協力隊員が同行。
中郷区地域協議会	11/1(水)	長岡市 ・さいわいプラザ ・子育ての駅ぐんぐん ・十日町市 ・ギルドハウス十日町	子育て支援をテーマに長岡市の取り組み状況と関連施設を視察 定住・移住をテーマに十日町市の施設を視察	8	3	・長岡市では合併特例債と震災の教訓を取り入れた「子育ての駅」、一方、十日町市では空き家を利用して「コンセプトシェアハウス」と言う考え方についてそれぞれ研修させていただいた。両テーマ共に「今、何が求められているのか」を考えさせられた。また「子育ての駅ぐんぐん」の帰路、バスに手を振ってくれた2歳位の女の子の笑顔と、「ギルドハウス」主人西村さんが「ここに移住を決めたのは、大家さんの人柄です。」と言われた事がとても印象に残る有意義な一日であった。 ・「子育ての駅ぐんぐん」の視察では、乳幼児の元気な声の中に父親と一緒に遊んでいる子供の姿が印象的だった。又、合併後の地域版「子育ての駅」についても市の担当者より説明をしていただいたが、これは各地域の子育て支援の機能強化として、保育園等との併設した施設等で親子サークルや高齢者など多世代が集う交流の場として活用しているとのことで、中郷区の子育て環境づくりの参考になると思われる。 ・今回訪れた「子育ての駅ぐんぐん」を始め、併設した周辺地域ごとに「地域版子育ての駅」もあり、長岡市の手厚い子育て支援の様子を知ることができた。ここに至るまでの財源、人材確保のプロセス、行政機構の整備等について市の担当者から説明を聞き、少子高齢化や人口減少等同じ問題を抱え、どうまちづくりに取り組み、私たちはどんな提言をできるのか考えさせられた研修となった。 ・ギルドハウスは、住まいを積極的に開放する「住み開き」によって、「まちづくりに携わりたい」、「多拠点居住として利用したい」など多様なニーズに応えるものになっていた。このようなコンセプトから、今現在10名を超える若者が暮らしている。限界集落に近いこの地で周辺の遊休農地の耕作にも取り組み、地域の方々との交流も積極的に行っている様子が伺えた。単なるシェアハウスではない新しい住居を目指しており、大変参考になった。	
板倉区地域協議会	10/20(金)	新クリーンセンター、板倉区内	・新クリーンセンターの確認 ・板倉区内の新たな観光資源(世界かんがい施設遺産上江用水路、国有形登録文化財鴨井邸)の確認	12	4	・地元にもなかなか見ることができない貴重な場所ばかりで勉強になり、とても良かった。 ・今回の研修は大変参考になった。 ・昼食は見た目がとても良く豪華に感じたが、食べたときに、水のためか、香辛料のせいかわからない匂いが鼻についた。 ・田屋集落の神社の説明は今まで一度も聞いた事が無く、興味深かった。来年は戌年であり、どの様な報道があるかにも興味が湧いた。	所長、総務・地域振興G長、地域振興班長、担当1名
清里区地域協議会	7/28(金)	・十日町市役所 ・(株)あいポート仙田 ・竹所シェアハウス ・竹所イエローハウス	・十日町市における高齢者支援事業の取組について(たっしや100事業・スマイルポイント事業) ・仙田地区における地区マネージメント法人として取組について(株)あいポート仙田 ・竹所地区における移住・定住促進事業の取組について(竹所シェアハウス、イエローハウス)	10	3	・災害時において、要支援者への避難指示等の具体的な連絡手段を確立しておくことが必要だ。 ・(株)あいポート仙田は地域に根付いており、過疎地域においては有効な取組だと思う。 ・古民家、空き家の再生については、清里区においても参考となるのではないかと。 ・中山間地域でのシェアハウスの設置を移住、定住促進の意味において取組むことが必要ではないかと。 ・竹所集落に移住している人達の雪に対する価値観の違いを感じ、移住者を受け入れる側の理屈を押し付けなければならないことが必要だと感じた。	市民生活・福祉G職員2名、集落づくり推進員1名、事務局3名
三和区地域協議会	-						
名立区地域協議会	11/29(水)	・大島区 (大島区総合事務所及び大島区内施設見学:あさひ荘、庄屋の家)	・当区と地理的状況や人口規模、中山間地の農業形態が類似した地域であるほか、現在休館している大山温泉「あさひ荘」は当区の温湯施設「ろばた館」の利用形態とも類似している。また、大島区地域協議会では、自主的審議事項で「少子化対策」に取り組んでいるとのことで、同じように「少子化対策・人口減少対策」を自主的審議とするか検討している当地域協議会と意見交換を行うことで、今後の取組方法を探るとともに、両地域協議会同士の連携にも繋げていくことを目的に行う。	10	5	・あさひ荘の休館の経緯について、報道等外部からの話では知り得ない地域の事情も詳しく聞くことができた。 ・少子高齢化対策として、買い物弱者世帯を支えるための移動販売事業の取組などを知ることができた。当区でも少子高齢化対策に向けてU・Iターン移住促進や、子どもや若者の定住促進について取り組んでいかなければならないと考えさせられた。 ・市では公の施設の在り方が抜本的に見直され、大島区あさひ荘のように休止となったケースが出てきているが、当区のろばた館も経営状況等を踏まえ、住民主体の取組が不可欠との観点から、地域協議会としてどのようにこの課題に向き合うかの参考とするため、研修に参加した。 当協議会としては、ろばた館の現状や地域全体の意向などを的確に把握することに努めるとともに、自主的審議事項として位置付け、将来的な論点整理を行い、関係団体との連携や地域一体となった具体的な取組を進めていく必要がある。	事務局参加人数内訳: 所長、次長、地域振興班2人、集落づくり推進員

平成29・30年度 各地域協議会視察研修実績

地域協議会名	H30						
	実施日	研修先 (例:NPO法人〇〇(〇〇市))	研修内容	参加 委員 人数	事務局 参加 人数	視察の成果(委員の感想等)	その他特記事項
高田区地域協議会	-						
新道区地域協議会	-						
金谷区地域協議会	-						
春日区地域協議会	-						
諏訪区地域協議会	-						
津有区地域協議会	-						
三郷区地域協議会	-						
和田区地域協議会	-						
高士区地域協議会	-						
直江津区地域協議会	-						
有田区地域協議会	-						
八千浦区地域協議会	8/10(金)	八千浦区 西ヶ窪浜海岸	自主的審議事項「海岸線の道路及び海岸のごみ問題について」で審議されている八千浦地区の海岸線の道路及び海岸のごみや砂等の状況を確認した。	7	3	<ul style="list-style-type: none"> 啓発看板がいくつか海岸に立っていたが、看板を多く立てたからと言って、ごみが減るわけではない。結局は個人のモラルの問題だと感じた。 八千浦区の海岸は海水浴場として整備されていないため、現状のようなかたちになっているのではないかと感じた。 頻りに海岸清掃を行えば良いと思うが、誰がやるかが問題である。 	
保倉区地域協議会	-						
北諏訪区地域協議会	-						
谷浜・桑取区地域協議会	-						
安塚区地域協議会	10/2(火)	中郷区まちづくり振興会 上越市クリーンセンター	<ul style="list-style-type: none"> 中郷区まちづくり振興会の取組説明 ごみ処理の流れや設備等について 	10	2	<ul style="list-style-type: none"> 中郷区では、子ども達が主体的に行事の企画などに取り組んでいるのがすごいと思った。まちづくり振興会が行う周りを巻き込んだ取組は非常に参考になった。 新クリーンセンターは外観だけではゴミ処理場のイメージが不像な立派なものだった。 ゴミ処理についての説明を聞き、環境を守るため、ゴミの減量の必要性を改めて感じた。 	
浦川原区地域協議会	-						
大島区地域協議会	9/10(月)	不動森あげ米かい(名立区)	<ul style="list-style-type: none"> 不動森あげ米かいの取組説明 	9	6	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少、少子高齢化、後継者不在、活動資金確保などの課題を抱える中、地域が一つにまとまり地域を守ろうと努力していることに感心した。 研修を通じて、若い人を含め多くの方から各事業に対し興味を持って参加し実行していただくには、計画を立案する時から参加していただくことも仲間づくりが必要だと感じた。 	
牧区地域協議会	10/16(火)	中郷区まちづくり振興会 上越市議会事務局 上越市自治・地域振興課	<ul style="list-style-type: none"> 中郷区まちづくり振興会の取組説明 議場見学 上越市地域協議会の現状説明・意見交換 	8	3	<ul style="list-style-type: none"> 中郷区では地域協議会で審議されたことが、まちづくり振興会で実践されており、牧区でもそのような体制づくりが大切と感じた。 自治・地域振興課での研修は、本当に有意義であった。牧区の事ばかり、すなわち狭い範囲の内容に終始し、他の区の活動・自主的審議事項の議論を聞かせてもらい、当区はまだ低い位置に止まっていると思われられた。 	

平成29・30年度 各地域協議会視察研修実績

地域協議会名	H30						
	実施日	研修先 (例:NPO法人〇〇(〇〇市))	研修内容	参加 委員 人数	事務局 参加 人数	視察の成果(委員の感想等)	その他特記事項
柿崎区地域協議会	11/15(木)	岐阜県関市役所 板取めばえ保育園	・保育園を管轄する関市役所子ども家庭課の担当者から話を伺った。 ・小学校の余裕教室を活用して設置した、板取めばえ保育園を見学させていただき、保育士から話を伺った。	12	2	・自主的審議事項である、「柿崎区保育園にかかる課題と今後について」の協議を進めるため、小委員会「みんなの保育園を考える会」を設置し、課題の整理や情報収集を行った。その中で、小学校の余裕教室の活用事例を知り、委員全体の視察研修として、実際に施設を見学して話を伺うことができ、知見を深めることができた。	
大湊区地域協議会	11/22(木)	上越市立歴史博物館 町家交流館高田小町他 ・雁木ねっとわく 高野様 ・町家caféRe:ie 打田様	新規に整備・改修した施設を視察し、情報収集を行う。 雁木、町家の利活用や地域活性化への取組みを視察する。	11	3	・歴史博物館は、以前にも何度か訪れたことがあるが、リニューアルにより展示内容の充実度、満足度が上がり驚いた。 ・講師の高野さん、打田さんの話は参考になった。打田さんのような人材が大湊区にもいてほしいと思った。 ・研修は必要なものである。次の機会を楽しみにしている。 ・今回は研修しなかったが、委員の「うみがたり」への関心が高かった。	
頸城区地域協議会	6/2(土)	頸城区・大正山	自主的審議事項「大池・小池の観光資源としての利活用について」で審議されている大正山について、地元講師を迎え、現況並びにこれまでの経緯等、現地の視察研修を行った。	13	5	・往時の状況を見聞きし、この場所が頸城区にとって大切な宝であると認識した。 ・何とか大池・小池を見渡せる眺望を確保できないか。 ・実際に現地を確認でき、貴重な機会となった。	午前中に現地視察を行った後、午後からは地元町内会長等と地域協議会委員との意見交換会を行った。
吉川区地域協議会	11/19(月)	NPO法人ぐりーんバスケット(糸魚川市)	吉川区の課題である交通弱者に対する支援について、現在、事業を行っているNPO法人を訪問し、取組の内容や自主的な経営の手法などを研修する。(事務局による活動内容の紹介)	13	2	視察先で説明を受けた下記の事項を、吉川区での課題検討の参考にする。 ○会員制による運営 ・利用者だけでなく、提供者からも会費を集めている。会員になることで、事業内容に示す全てのサービスを受けることができる。会員制により、年度当初に会費が集まるため、運営、管理にかかる資金が調達できる。 ○移送サービスの利用料金 ・タクシー料金の1/2までという制約の中で、糸魚川市運営委員会にかけて認定してもらった金額。過去にガソリンが180円/ℓまで高騰した時に値上げしたのみ。 ○補助金に頼らない運営 ・報告事務の煩わしさ等を考え、補助金は受けていない。補助に類するものも24時間テレビから寄贈を受けたリフト車だけ。 ・市の委託事業を受託できたことにより、活動できている。(転倒予防教室:各会場月3回×4会場、弁当配達業務:ボランティアが見つからない地域のみを受託) ○課題 ・慢性的な運転者の不足、介助が必要な利用者の増加によるサービス時間の長時間化。運転者の負担が大きい。 ・定年の延長による新規運転者確保の難しさ。運転業務に携わるボランティアの高齢化(糸魚川地域でのガイドラインにより75歳で制限) ・同じ時間帯に利用が集中。 ・移送距離の短い利用が多い。 ・ボランティア意識が求められるため、後継スタッフの確保が困難。 ○その他 ・送迎車両は、リフト車を除いて全て個人所有の車両。 ・利用者が好意で提供者に渡す「駄賃」は、「現物」の場合を除いて全て法人への寄付として扱っている。そのことが、提供者が利用者を選びほしくないための予防にもなる。	日中に視察研修を行った後、午後4時から地域協議会定例会を行った。
中郷区地域協議会	11月1日(木)	[大島区] (農)菖蒲生産組合 [大道福田] あるん村 [牧区] (農)みずほ (農)妙高市 ・妙高はねうまカントリーエレベーター	[集落営農の法人化の経緯・現在の運営について] ・集落営農が定着している法人へ出向き、設立から現在に至るまでの経緯を伺う。 ・中郷区と同規模程度の圃場で耕作している市内の法人を視察先とする。 [直売所の経営] ・あるん村 [新井道の駅付近に新設されたカントリーエレベーター] ・妙高はねうまカントリーエレベーター	13	4	【農事組合法人菖蒲生産組合】 ・水稻の除草剤散布にドローンを使用し、若者たちにも農業に興味を持ってもらえるよう工夫しているとともに、年間を通し安定した収入が得られるよう非農家の協力者を集め、玉ねぎの作付に取り組みなど、経営に対する努力が伺えた。 ・地場産のそばを生地にしたガレットをメニューに用いて「かふえ」を営業するなど市内外から人を呼び込もうとする熱意が感じられ、今後法人化の動きが見込まれる当区にとって良いお手本になった。 【農事組合法人みずほ】 ・当時の牧村第1号として昭和57年に生産組合を設立し、その後、平成19年に現在の法人を立ち上げ、地域で農地を守ってきていることはすごい事だと感じた。 ・後継者がいないという事で困っていたが、「まだやれる」といった考え方で地域が丸となり、新たに「わらび」の栽培にも手がけていることは素晴らしいと思った。今後、当区でも法人化を進めていくにあたり、大変参考になった。 【妙高はねうまカントリーエレベーター】 ・この秋に稼働した当施設の設備は、品種や地区別等の区分管理に対応するため、火力を使わない常温低湿乾燥システムを始め、自動紙袋紐結束機等々の最新システムが導入されていた。より自然に近い乾燥と、出荷まで間は室温湿度管理をしていることから、お米にやさしく美味しいお米ができるため、今後の上越米の販売促進に期待したいと思う。	・地域協議会委員9名 ・総合事務所職員4名 (次長、地域振興班2名、産業建設窓口班1名)
板倉区地域協議会	10/18(木)	糸魚川市	災害復興とまちづくり ・糸魚川市の復興の取組について(糸魚川市復興推進課) ・被災・復興現場の視察(街中を徒歩で視察) ・民間による復興やまちづくりの取組について(糸魚川市復興まちづくり情報センター)	11	4	・H28.12.28大火発生(1年10ヶ月経過)の復興の進行状況は急ピッチに進んでいると思われた。 ・昼間(10.20頃)出火の為、大火の割には負傷者(死者ナシ)少なく、人的には不幸中の幸いであったように思える。 ・この大火を機に将来を見据えた復興まちづくり計画を短時間に住民の意向を十分に取り入れた状況で組入れられているように思える(水利計画・用水・景観・広場・緑化・道路拡張・新たな事業エリア・区画化・その他) ・地域住民と行政(市当局)との話し合いがお互い理解し合い、大きな目標に向かって結果を出しているように思える。 ・感想としては前述の内容と同じ。なお、民間ボランティアによる復興まちづくりに取り組んでいる皆様方には頭が下がる。民間の立場から見た意見は現実的なものとして大切である。	
清里区地域協議会	7/27(金)	長岡市小国町 ・小国芸術村会館 ・小国支所 ・たまり場八ちゃん(八王子)	・長岡市の中山間地集落支援の取組について(長岡市地域振興戦略部) ・過疎、高齢化地区での公共交通システムについて(NPO法人MTNサポート) ・空き家の利活用について(小国芸術村・たまり場八ちゃん)	10	3	・長岡市では、「除雪」「移動」「見守り」を地域課題のテーマとして絞り込み、具体的支援策を行っていることに感じた。 ・NPO法人のコミュニティバス運行については、清里区の路線バスを検討するうえで参考となった。 ・高齢化、過疎化が著しい八王子集落での取組をお聞きして、強いリーダーシップの人材が必要と改めて感じ、今後の活動に期待したい。	・地域協議会委員10名 ・集落づくり推進員1名 ・総合事務所職員3名 ・NPO法人清里まちづくり振興会1名 ・新幹線・交通政策課1名
三和区地域協議会	-						
名立区地域協議会	11/22(木)	上越市クリーンセンター 高田公園オーレンプラザ 高田公園陸上競技場	・クリーンセンター施設見学 ・オーレンプラザ施設見学 ・陸上競技場改修説明	9	3	・クリーンセンターの施設の大きさに圧倒された。 ・私たちの日常生活から出る大量のごみ、その処理のため、多大な労力と多くの税金が投入されていることを改めて知った。 ・私たち一人ひとりがごみの減量、エコな生活、省エネに努めなければならないと感じた。 ・子どもセンターは一日親子でゆっくり過ごせそうだと感じた。 ・オーレンプラザは名立区から少し遠く感じるが、多くの市民に活用してほしいと思う。	視察研修終了後、地域協議会を開催

平成30年度に事前提出のあった視察研修希望地一覧

No.	研修希望地	理由
1	富山県射水市	(空き家対策) 名立区でも空き家が多くなり、日頃から何かしなくてはと考えています。
2	十日町市	(移住・定住促進) ・若者が定住しやすい町づくりを考えていかなければいけないと思います。 ・移住、定住について話を聞きたい。
3	出雲崎町	(人口減少対策) 名立区と人口が似ているところが多い。人口減対策など、参考になるのではないかと思う。

【参考】名立区地域協議会のこれまでの視察研修先

- H30 合併前上越市(クリーンセンター、オーレンプラザ)
- H29 大島区
- H28 糸魚川市
- H27 長岡市山古志
- H26 津南町
- H25 安塚区
- H24 未実施
- H23 中郷区、新井市
- H22 板倉区

令和元年度名立区地域協議会視察研修希望表

協議会委員名

項目	希望研修先	理由
第1希望		
第2希望		

※希望研修先集約時には、提案委員のお名前は掲載しません。

月 日()までに提出をお願いします。

【送付先】

FAX 537-2973

Mail nadachi-soumu.g@city.joetsu.lg.jp